



# 杉山たかひのニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel.35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ <http://yaplog.jp/jcpnishisugi/> (携帯も可)

住宅リフォーム助成、国保一部負担金軽減など

## 市議会団が視察 広島県廿日市市、広島市、尾道市

日本共産党西宮市会議員団は、11月16日から3日間の日程で広島県内の3自治体を訪問し視察を行いました。

### 廿日市市

廿日市市では、市議会団が繰り返し取り上げている住宅リフォーム助成制度を視察しました。

広島県建設労働組合などからの要請を受けて検討し、地元企業の活性化を目的とし今年スタート。

年間予算が400万円。2回に分けて募集を行い、107件の申請、抽選で29件の交付、総工事費は約

6010万円という実績です。費用対効果は約1.5倍にもなります。

市は、「制度をきかっけに数件工事が増えたという事業者も」とリフォーム工事の呼び水となるなど一定の経済波及効果があるとしています。

また、市の技術職員が申請書類をチェックするため工事の精度が保証され、市民も安心して制度利用でき、市職員もやりがいがあるとのことでした。

西宮市でも早期に実現させたいと思います。

### 広島市

広島市では、国民健康保険の窓口負担の減免制度について視察。西宮市ではほとんど利用されていませんが、広島市では年間2000件を超える利用です。

大きな違いは、西宮市では「療養見込み期間が3か月以内」と対象を制限していませんが、広島市ではあり0年代から実施し、医療機関への周知もしていない」と。すでに制度が定着しているとのことでした。

西宮市で制度利用を促進するためには、市民と医療機関への周知、制度の改善が必要です。



西部こども療育センターも訪問。西宮市が、わかば園を建替え、総合療育センターの設置を計画していることから同施設を視察。

同センターは、療育相談と知的障害児通園施設があり、広島市では3館目。経験を活かし、施設のあちこちに配慮が見えます。子供たちの生活の様子も少し見せていただきました。

社会福祉事業団が指定管理者ですが、保育士の配置

も基準の4人に1人でなく、2人に1人、市職員の派遣も多数。福祉は「マンパワー」だと感じました。

西宮市の新たな総合療育センターでも、マンパワーも含めた良い施設を作って欲しいものです。

### 尾道市

尾道市では、公立みつぎ総合病院を視察。同病院は御調町の「国保病院」として開設、合併で尾道市に。

「寝たきりゼロ」をめざし、地域包括医療・ケアをすすめている。積極的な在宅医療もすすめています。

また、病院として多数の介護施設を持ち、医療と介護の連携をすすめており、北欧からの視察も。しかし、病院が地域医療を全面的に



かかえることから、地域住民の意識が低下しているとのこと。尾道市内でのサービス格差も生じています。

公営企業法の全部適用で、収支にこだわりが感じられました。黒字経営を続けているようで、診療と経営の両方にとっても努力がされていますが、最大の問題は医師不足とのこと。

西宮市立中央病院の問題で参考にしたいと思えます。

## 市議会12月定例会がはじまります

12月市議会が5日から始まります。今議会、市役所の組織改正が提案されています。来年度、新たに産業文化局を設置、総合企画局を政策局に、防災・安全局を防災危機管理局に、エネルギー政策課を創設、グループの名称を「課」に統一、などです。その他、児童育成センターの公募4施設を含めた指定管理者指定の条例案などが提案されます。

一般質問は、上田さち子議員（9日13時）、まつお正秀議員（13日13時15分）が行います。ぜひ、傍聴にお越しください。